

議会だより

白山市

2026.8

vol. 85

CONTENTS

意見
交換会

②… 皆様のご意見を市政に ～意見交換会（山島・松任地区）～

- ③… 市議会6月会議の概要
- ④… 一般質問
- ⑥… 意見書・私は賛成・反対しました
- ⑦… 特別委員会報告・新たな特別委員会
- ⑧… 議会運営委員会主催講演会・市民の声

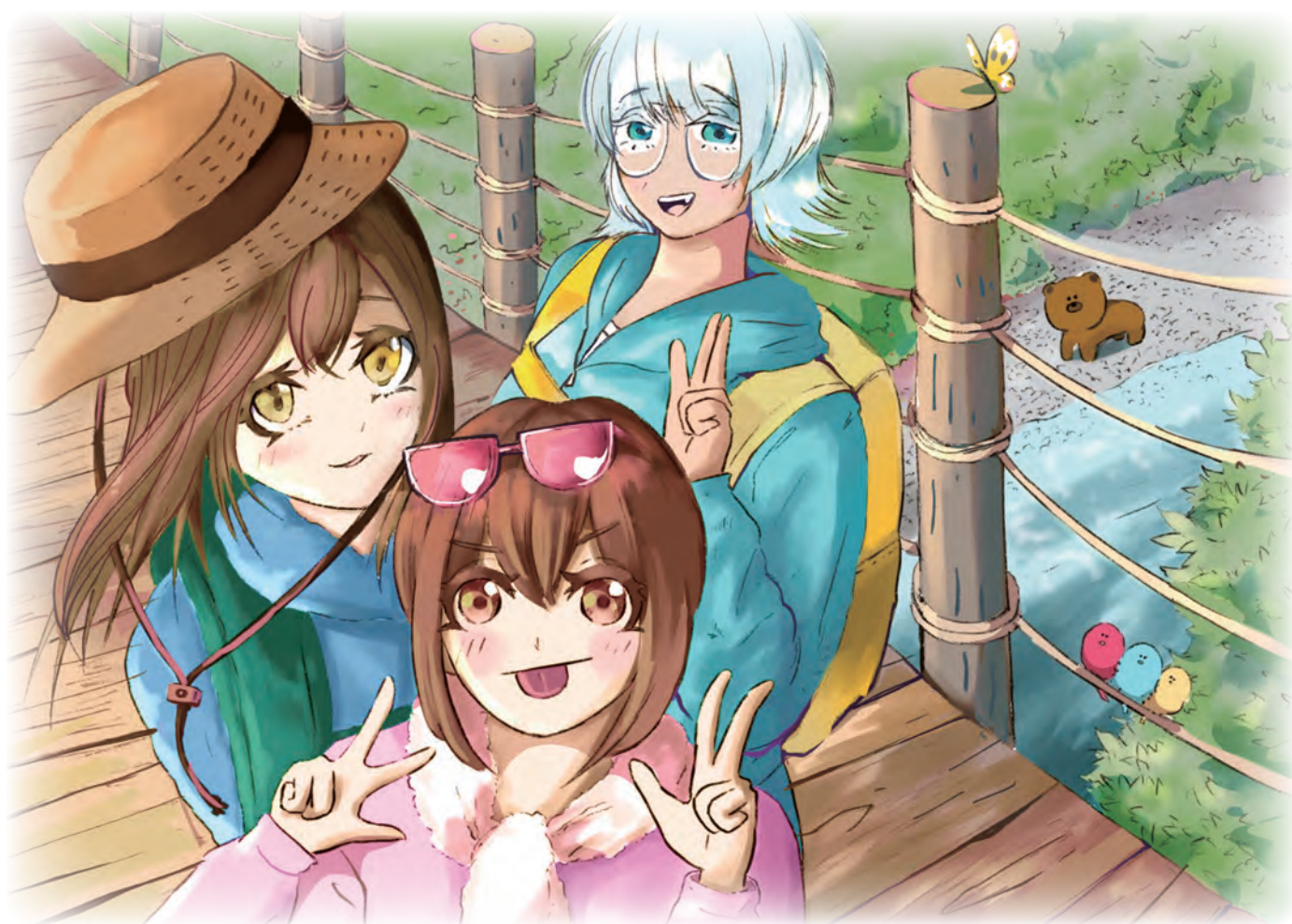
白山市議会だよりを
ishikawa ebooksで
見ることができます。

コチラ
→



お知らせ

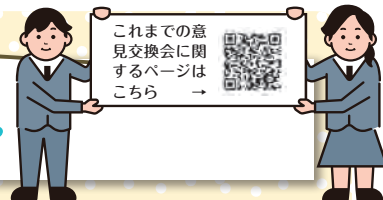
各コンテンツの詳細はスマートフォン
やタブレットを使って各ページの二次
元バーコードからご覧いただけます。



「山のぼり」 作者／金城大学短期大学部美術学科 ^{てらした} 寺下 りな さん

三人で山登り中に仲良くしてるところを描きたいと思い描きました。人物のポーズや立ち位置などを意識して、楽しく見えるよう工夫して描きました。

皆さんのご意見を市政に ～意見交換会～



山島地区との意見交換会

令和8年4月16日(木)

その他の
ご意見は
こちら→



Q 白山市にはジェンダーの問題がまだ残っており意識改革が必要だ。女性が仕事と子育てを両立させる切れ目ない支援が必要だと思う。

A 本市は第2次白山市男女共同参画行動計画のもと取り組んでいるが、長年にわたり形成された性別に基づく無意識の思い込みがジェンダーの課題となっている。課題解決の一つとして金城大学と共催によるワーク&ライフバランスフォーラムや、商工会議所との連携により女性と企業の働き方フォーラムを開催し、地域活動の中で性別に関わりなく話し合いや、人権尊重の意識の醸成を図りながら解決に向け取り組んでいる。子育てにはこども家庭センターを中心に関係部署の連携を図り、切れ目ないサポートを推進している。



Q 山島地区の高校生が松任駅まで通学のため行くには遠い。通学時間に合わせたためぐーの時刻表の変更や、自転車の購入補助など高校生の通学補助を創設してほしい。

A めぐーは市内全域を運行しており、動かせる車両や運転手の確保が極めて難しく通学時間に合わせるのは困難だ。また、高校生の通学補助については白山ろく地域にお住まいの保護者には費用の一部負担を行っているが、対象の拡大の予定はない。同様に自転車補助の新設については対象者を限定することが困難なため現在のところ考えていない。

Q こども園には保護者が仕事をしていなければ入園できない。預けられないから仕事ができない。第1子、第2子と産休・育休が続く場合などがあり子育てが大変である。もっと柔軟な対応が必要では。

A 近年は幼保連携型の保育施設に移行し、どの家庭でも3歳以上であれば入園は可能。また育休制度が浸透してきており第1子、第2子関係なく柔軟な通園システムになってきている。就活中など心配事が重なる場合もあるので、安心して子育てできるように周知していきたい。



松任地区との意見交換会

令和8年5月24日(日)

その他の
ご意見は
こちら→



Q コミュニティは横のつながりも大事だが、縦のつながりも重要である。世代ごとで行うコミュニティの考え方をどのようにつないでいくかが重要。

A 地域コミュニティ組織による主体的な地域づくり活動を通じ、世代間の連携を推進している。デジタルツールの活用やプロジェクト型の活動など、各世代のライフスタイルに合わせて参画できる多様な窓口を広げることは、地域全体の活性化に直結すると確信している。



Q 婚姻時や出産時など、より早い段階から地域と緩やかにつながる機会があるとよい。

A 地域コミュニティ組織と連携し、ライフステージに応じた緩やかなつながりを増やすことが重要と考えており、地域コミュニティ組織のアイデアを活かした取組を支援していく。

Q 紙の回覧板は現役世代（不在がちな世代）に情報が届きにくい。高齢層への配慮は必要だが、デジタル環境を早期に整備してほしい。

A 電子回覧板アプリの導入に関する市民アンケートを実施し、ニーズを幅広く把握し、今後の情報伝達の在り方を検討していきたい。



議会との議会報告会・意見交換会の開催を希望する団体などを募集中！
お気軽にお問い合わせください。

詳しい内容はこちら→



市議会6月会議の概要 6月8日(月)～26日(金)

一般会計補正予算 6.2億円を審議



議員

民生委員児童委員へのICT導入計画の具体的な活用方法は。

タブレット型端末機を配付し、会議を自宅でも出先でも見られるような形になり、端末機で活動報告を作成し、メールで提出できるようになる。



市



議員

小・中学校の適正規模・適正配置の協議はどのような状況か？

今年度、基本方針を策定する。来年度に計画を策定して進めていく。



市



議員

白山一里野温泉スキー場で購入するウインチ式圧雪車は今までもあったのか。またその用途は。

現在も1台所有。ウインチ式は斜度20度以上のゲレンデで推奨されており、一里野の上級者コースは斜度25度なので、専用で使用する。



市



議員

市営住宅の入居状況について、入居率の低いところは今後改修等もしていかなければならないと思うが、市の考えは。

今年度、市営住宅の基本計画の見直しをしている。その中で示していく。



市



議員

本庁舎宿直業務事業の業務委託料が増えた理由は。

市役所窓口の開庁時間が8時30分から9時へ変更になったことに伴い、その間の代表電話を守衛が対応することとなったため。



市



議員

河合町の地すべりにより休業している法人施設等へ、市として何らかの支援は。

直接支援は難しいが、固定資産税の減免などの支援ができればと考えている。



市

議案に対する附帯決議（意見）

附帯決議とは

議会や委員会が可決された議案に対し、「この点には特に配慮してほしい」という要望や意見を添えることです。

議案		意見・提言など
総務企画常任委員会	議案第74号 第3次白山 市総合計画 基本構想の 策定について	本議案について異議なく認めるものであるが、今後策定される基本計画において、 1. 将来都市像の具体化と白山らしさの明確化 2. 基本理念の整理と市民に分かりやすい表現の工夫 3. 人口推計・出生率見通しの現実的な設定 4. 若者の市外流出抑制及び帰還・定住促進策の強化 5. 議会意見の適切な反映方法の明確化 について十分に検討し、施策の実効性向上に努められたい。
	議案第71号 財産の取得 について	本委員会は、本契約の締結について異議なく認めるものである。 一方、白峰スキー競技場は、アルペン競技場及びクロスカントリー競技場を有する石川県を代表するウィンタースポーツの競技拠点であり、競技力の向上はもとより、全国大会や各種大会、合宿の誘致、交流人口の拡大及び白山ろく地域の活性化に寄与する重要な施設である。また、石川県からも継続的に補助が行われており、県としても競技環境の維持に一定の役割を果たしている。 しかしながら、コロナ禍や少雪、スキー人口の減少など様々な社会的要因があるものの、利用者数は平成22年度の9,396人から令和7年度には4,173人まで減少している。一方で、毎年約2,200万円の管理運営費を要し、さらに約10年ごとには5,000万円規模の設備更新が必要となるなど、今後も継続した財政負担が見込まれる。 白峰スキー競技場が将来にわたり石川県の競技力向上と白山ろく地域の活性化を担う拠点施設として持続的に発展していくためには、施設の役割にふさわしい管理運営体制について検討していくことが重要である。 よって、本委員会は、市に対し次の事項について特段の配慮を求める。 1. 白峰スキー競技場を石川県全体のウィンタースポーツ競技拠点として位置付け、競技力の向上を図るとともに、全国大会や各種大会、合宿等の積極的な誘致、交流人口の拡大及び白山ろく地域の賑わい創出に向けた取組を一層推進すること。 2. 前項の実現に向け、石川県との協議を進め、県全体の競技力向上及び白山ろく地域の活性化の観点から、白峰スキー競技場全体の役割分担及び管理運営の在り方について検討すること。

一般質問

6月会議の一般質問は、
6月17日(水)から19日(金)の
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針を問い、政策的な提言などを行います。質問時間は1議員30分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。(質問順に掲載)



きたじま
北嶋 章光

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q 美川文化会館アクアの改修は現行の計画では、令和11年度から13年度にかけて事業をする予定。現状は、ホール及び舞台の冷暖房設備に不備があり、夏は酷暑、冬は極寒状態であり、早急に冷暖房設備の修繕をしていただきたい。市の対応は
- A 老朽化の進行により、ホール及びホワイエについては、夏季、冬季ともに空調能力が十分でない状況である。利用者の皆様に不便をかけているものと認識をしており、事業内容及び実施時期について、前倒しも含めて検討してまいりたい



なでしこ
撫子 正

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q 令和9年度末に加賀笠間駅の自由通路が供用開始予定である。完成後、速やかに美川駅バリアフリー化に取りかかれるよう、協議や計画を進められないか
- A これまでも前県知事に対し申入れはしてきた。今後も県知事、IRいしかわ鉄道に対し加賀笠間駅の整備状況に応じて申入れしていきたい
- Q 本市の救急は白山野々市広域事務組合であるが、救命率などは把握できているか
- A 石川県の救命率は21.6%で全国1位。本消防管内は32.3%で県全体の数値を押し上げている



きや
木谷 和栄

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q 子供たちの心に平和のとりでを築くことを目的としたユネスコの理念と白山市のジオパーク教育は非常に相性がよく、両者を組み合わせることで子供たちの学びがより深まると考える。ユネスコスクール構想の導入の可能性は
- A ESD(持続可能な開発のための教育)の実践を進めるユネスコスクールの取組は、豊かな未来の社会の担い手となる上で大変意義あるものと捉える。各校のジオ学習への取組を踏まえ、一部の学校を指定するなど導入に向けて検討したい



よしもと
吉本 史宏

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q 「スマートシュリンク・賢く縮む」の視点を取り入れた生活圏の再編、拠点化という都市構造の再設計に対する考え方は
- A 人口減少時代において大変重要であり、第3次白山市総合計画の策定を踏まえ、来年度以降に改定予定の都市計画マスタープランの中で本市にふさわしいスマートシュリンクの在り方を検討していく
- Q 松任グリーンパークでのドッグラン整備は
- A 再整備を検討するための予備調査の結果を踏まえて中型犬・大型犬の利用も含め検討していきたい

有権者が政治家に寄附を求めることは禁止されています。



ひらの
平野 辰子

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q PFASに関し、血液検査後の評価と対応、子供や妊婦の健康相談、水質検査や血液検査の拡大は
- A 血液検査の結果は個人に知らせ、対応を検討する。また、子供や妊婦の相談は通常健診で丁寧に対応する。水質検査、血液検査の地域は拡大しない
- Q 放課後児童クラブ虐待案件で児童の心理的ケアと今後の取組は
- A 法人において、専門職の面談やカウンセリングを実施し、市としては事業所に対し、ケアの実施について指導していく



ありかわ
有川 康二郎

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q ライブサーキットを駅前のにぎわい創出の核となるイベントとして活用していく考えは。飲食店が出店できる仕組みや、開催日に合わせて松任城址公園など駅周辺の公共空間を活用しキッチンカー、マルシェ、子供向け企画、若者による発表の場などを同時開催しては
- A 会場内に飲食店のテイクアウトメニューを設置し、来場者自身がお店に注文、受け取りに向かう方式について、近隣飲食店と連携する。今後、マルシェ等の同時開催については協議を進める



やまもと
山本 佳裕

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



- Q 今年度特別支援教育支援員を69名から10名増員した。小学校1年生問題への対応として配置と効果についてどのように考えているのか
- A 小学校1年生の全クラスに配置。学級の児童数に関係なくよりきめ細やかな支援ができるようになった。年2回の研修会で資質と専門性の向上に努めている
- Q 防災ポータルの市民への周知と利用促進の方法は
- A LINEなどで周知し、各地区で開催される防災訓練や講座の場において説明会を行い理解促進に努め、自主防災組織と連携し活用意欲の向上を図る



いし じ よしかず
石地 宜一

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 西川上流のPFASの発生源調査を化学的指紋分析で行っては。海中汚染による魚介類の影響は

A 安定同位体分析を活用できる新たな手法であるが、実用化まで数年を要することから県やアドバイザーで対応。海中へのPFASの値は検出下限値未満で海域への影響はなく、魚介類への影響はない

Q 半導体工場やデータセンターの誘致プロジェクトチームの構築状況は

A 勉強会を5回開催し、事業者とも協議を行った。7月には誘致プロジェクトチームを立ち上げる



よねやま りつ こ
米山 立子

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q はくさん3育は、子育て世代に選ばれる魅力的な教育であり、庁内連携した発信が有効。「教育移住」を拡大するため市ならではの計画は

A 移住・定住希望者に積極的に発信することが重要。子育て環境のさらなる充実や教育環境の魅力発信を一体的に進め、移住・定住の促進に取り組む

Q 公共下水道は、官民連携事業を行うよう進められている。市民の飲み水である上水道は、将来的にも移行することなく、市が管理運営を継続する方針か

A 上水道は今後も市が管理運営を継続する



おお や じゅんいち
大屋 潤一

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 建築やまちづくりの分野から感性を育む取組として（仮称）梅澤捨次郎建築賞を創設する考えは

A ライン博士顕彰会のように顕彰団体の設立など官民一体となった顕彰機運の醸成が具体化した段階で、その創設について検討したい



さわ だ まさゆき
澤田 昌幸

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 北陸電力手取水力センターの跡地活用の考えは

A 白山ろく地域の活性化や拠点化を図る上で活用できる施設と受け止めており、合同庁舎の運用を含めた活用方法の検討や、拠点化に向け調査研究を進める

Q 白山白川郷ホワイトロードの観光スポット、姥ヶ滝を望みながらの露天風呂や足湯、上流部の噴泉塔は水の循環を体感できる観光資源であるが、岩盤崩落箇所の復旧工事は秋の紅葉シーズンに間に合うのか

A 岩盤崩落箇所の対策工事は、国の石川森林管理署にお願いしており本年10月末頃完了と聞いている



た しろ けい こ
田代 敬子

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 日本版DBSの導入に向けて本市の取組状況は

A 教育委員会としては、小・中学校の児童・生徒に関わる方全てが対象となる。また、放課後児童クラブは国の認定を受けるか否かは任意となっているが、児童の安全・安心及び保護者の運営事業者への信頼を得るためには認定を受けることは有意義である。現在、市と共同認定を受けるため事業者に認定の意向を確認している



やまぐち とし や
山口 俊哉

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q ライフル銃の射撃練習場は県外にしかなく、交通費や利用料、弾代などはほぼ自費となっている。島根県益田市のように県外の練習費の全額の補助を

A 練習費用のさらなる補助制度の拡充や新設については、緊急銃猟に従事していただけるハンターの人材確保と射撃技術の向上、安全・安心な捕獲体制の維持が図られるよう、県、警察などの関係機関や猟友会白山支部と協議しながら検討していきたい

Q 緊急銃猟に協力するハンターを登録し、補助を

A そのことも含めて、協議・検討していきたい



いけもと まさる
池元 勝

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 製造業においては物流や倉庫機能との連携が欠かせないが、連携の必要性を認識しているか。地域産業全体の生産を高める「産業団地」の考え方は

A 物流は重要な社会インフラと認識しており、今後の工業団地整備では物流機能が十分に連携できる環境を整え産業団地の在り方についても検討していく

Q 自転車の安全教育や走行環境、観光との連携を計画的に進めるため、自転車活用推進計画を策定せよ

A 他自治体の事例を研究し参考にしながら、白山市に適した内容を計画に盛り込めるか検討する



たに けんいち
谷 健一

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 「あたまとからだの健康増進事業」の評価と今後の取組拡大についての考えは

A 参加者は認知症予防、介護予防に加え、医療費と介護給付費が平均26万円低く抑えられた。今年度は、75歳以上を対象とした長寿健診の問診結果を活用し、強化を図る

Q 中東情勢の影響を受けている中小企業・小規模事業者への支援は

A 国や県の経済対策を注視し、効果的な支援策の検討に努める



はら たくじ
原 卓二

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 市内に残存する鉛製給水管の更新について、検査における採水場所が誤っていたのであれば、把握後どのように市民に説明し、検査体制を見直すのか正確な実態把握と分かりやすい情報公開が必要。改めて市民に広く周知するいい機会ではないか

A 市民への周知に関してはホームページで工夫して表示したい。ホームページを見られない方に対してもメール、LINE、広報紙、チラシといった方法も考えられるので検討したい



うえだ よしはる
上田 良治

動画で
チェック



他の
質問は
コチラ



Q 地域主体による教育観光として、ジオパークと親和性が高い日本風景街道との連携を進めてはどうか

A 連携に向けた登録申請には地域住民やNPO法人等で構成されるパートナーシップ組織構成が必要。今後、全国にある事例の教育観光面を研究し検討する

Q 本年度実施する避難所リーダー育成の実施時期や対象となる基準は

A 実施時期は8月から12月にかけて計4回実施。実践的な知識を習得するための研修とし、市内在住のリーダーを担っていただく方を対象としている

国の関係機関へ提出



意見書

・全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める
意見書 (提出者 田代 敬子)



←意見書の
本文はコチラ

私は

賛成・反対しました

その他の議案の
議決一覧は
こちら→



○=賛成 ×=反対		氏名	米山 立子	有川 康二郎	撫子 正	横山 由裕	平野 辰子	山本 佳裕	上田 良治	谷 健一	原 卓二	木谷 和栄	池元 勝	中野 進	大屋 潤一	田代 敬子	山口 俊哉	吉本 史宏	澤田 昌幸	石地 宜一	北嶋 章光	寺越 和洋	藤田 政樹
◎会派名 一創=一創会 新政=自民新政会 白政=白政会 未来=未来につなぐ会		会派名	一創	白政	一創	一創	白政	未来	未来	新政	一創	一創	一創	白政	未来	一創	白政	一創	白政	一創	新政	新政	一創
使用料・手数料の見直しに関する基本方針に基づく料金改定に伴う関係条例の整備に関する条例について			○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
政府に対し「誰もが安心できる年金制度」を求める意見書提出に関する請願			×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
『防衛装備移転三原則』及びその運用指針を改定する閣議決定の撤回を求める意見書の採択を求める請願			×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
ドナーミルクの利用拡大を求める意見書			×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

*この他にも23件の議案と2件の議会議案があり、可決または答申しました。



提案説明・一般質問の生中継は Youtube でもご覧になることができます。



www.youtube.com/@白山市議会チャンネル

白山市議会

検索



議会傍聴をお待ちしています

手続きの詳細はコチラ →



本会議の傍聴席は市役所7階です。

配慮が必要な方は事前に議会事務局までお問い合わせください。

8月会議の予定 ※会期=8/31~9/28(29日間)

本会議日程	8月31日(月) 10:00~	提案説明
	9月10日(木) 10:00~	一般質問
	9月11日(金) 10:00~	一般質問
	9月14日(月) (一般質問予備日)	
	9月28日(月) 15:00~	表決

※委員会の傍聴もできます。委員会日程は議会事務局までお問い合わせください。

特別委員会

未来のまちづくり特別委員会の報告

本委員会は計14回の審議を重ね、合併後20年の検証と今後の展望をまとめました。検証では、これまでの人口施策に一定の成果を認めつつも、将来にわたる地域社会の維持を課題とし、次期総合計画での数値目標の明確化を強く求めました。

(持続可能な20年後への10の提言)

20年後を見据え、①若者の就労・子育て支援 ②行財政健全化と企業誘致 ③民間人材の活用 ④公共交通の維持 ⑤広域連携 ⑥防災とゼロカーボンシティ ⑦土地活用 ⑧小規模事業者への支援強化と地産地消 ⑨健康寿命の延伸 ⑩多様な学びの場づくり の10項目を提言。全ての市民が夢と希望を持てる持続可能なまちづくりを期待します。



議会BCP・ハラスメントに関する特別委員会の報告

本委員会では、災害時でも議会が役割を果たし、また、ハラスメントのない信頼される議会をつくるため、計10回の協議を経て、それぞれの制度案をまとめました。

(議会BCP（業務継続計画）案について)

「白山市議会BCP（業務継続計画）案」は能登半島地震や豪雨災害などの教訓を生かし、災害時でも議会の機能を止めず、市民の安全を守るための計画案です。タブレット型端末機等を生かした迅速な情報共有や、オンライン会議の導入、非常時の議員の行動指針などを定めました。



(ハラスメント防止要綱案について)

議員や職員が互いに人格を尊重し、市民から信頼される議会をつくるため、「白山市議会ハラスメント防止要綱案」をまとめました。パワハラやセクハラ等の定義を明確にし、相談窓口の設置や外部専門家の活用、研修の実施などを規定しています。高い倫理観を持ち、誰もが安心して自由闊達に議論できる環境づくりにつなげます。

以上の提言の報告を行い、それぞれの特別委員会を廃止としました。

新たに組織された特別委員会を紹介します

次世代の地域交通に関する特別委員会 10人

★既存の公共交通の検証と今後の在り方や、新しい交通形態(手段)に関する事を協議します。

◎大 屋 潤 一	○横 山 由 裕
米 山 立 子	撫 子 正
山 本 佳 裕	原 卓 二
木 谷 和 栄	池 元 勝
山 口 俊 哉	藤 田 政 樹

持続可能な行財政に関する特別委員会 10人

★公共施設の今後の在り方や、補助金の適正化に関する事を協議します。

◎吉 本 史 宏	○有 川 康二郎
平 野 辰 子	上 田 良 治
谷 健 一	田 代 敬 子
澤 田 昌 幸	石 地 宜 一
北 嶋 章 光	寺 越 和 洋

(◎委員長、○副委員長)

議員報酬見直し後の議会活動・議員活動、議員定数の在り方について

講師 拓殖大学政経学部 教授 河村 和徳氏

議会運営委員会主催の講演会が開催され、河村教授からご講演をいただきました。

議員定数や報酬の見直しは単なる削減や増額ではなく、市民の声をどのように議会が市政へ届けるかという視点が重要であると説明を受けました。また、中山間地域を含む多様な意見を市政に反映する仕組みづくりや、デジタル技術を活用した情報発信・市民参加の充実の必要性を指摘されました。

講演を通じて、市民に開かれた議会の実現に向けた今後の議会活動の在り方について理解を深めました。



市民の声

「市議会に期待すること」をテーマにご意見をいただきました。



集会所問題

宮保町 ごえんどう 五影堂 こうじ 晃司さん



白山市には町内会単位の集会所が多数存在します。各地区のコミュニティセンターは28か所ありますが、地区内で離れている場合も多いです。

集会所は各町歩いて行けるミニコミュニティであり、地元自治の基本の場所です。災害時のまず集まる「一次避難場所」に指定しているところも多いです。各町の資金

的な事情等により老朽化・旧耐震であっても建替・修繕を先送りしているところも多いかと思います。

順次、要望があり緊急性・住民の負担が大きい所に補助金の金額等を見直し、積極的に支援すべきかと思っています。

高齢者の暮らしを支える交通支援

森島町 くろゑ 黒田 うみ 千紗さん

市議会には、市民一人ひとりの生活に寄り添ったまちづくりを期待しています。私はドラッグストアで勤務しており、高齢者のお客様と接する機会が多くあります。その中で、運転免許証返納後の移動手段に不安を抱えている方や、タクシーを利用される方、シルバーカーを押して徒歩で来られ

る方を見かけます。

白山市には返納時の支援制度がありますが、日常の買い物や通院を支える、一時的な支援にとどまらない継続的な交通支援について検討していただけることを期待しています。



広報広聴委員会 広報部会

委員長：田代 敬子 副委員長：山本 佳裕
委員：有川 康二郎、撫子 正、横山 由裕、木谷 和栄

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

